



# どう生かされたまちの税金

## 7つのマニフェストに沿った決算

歳入決算額で前年度比74億円減の372億5,201万円、歳出決算額が前年度比66億円減の362億8,623万円となり、歳入歳出差引では前年度比約9億円減の9億6,577万円となりました。

震災後8年が経過し、決算額も減少し歳入歳出の約半分が震災復興関連です。

決算審査の中で復興事業については、ほぼ計画どおりに進捗しており復興完結に向けラストスパイトでもありません。

復興庁の終了まで残すところ1年半弱で、その後は通常予算により、財政が厳しくなりますので、効率的な行政運営を切に願います。

(財務常任委員長 小野 幸男)

## 総括質疑 Q & A

### 平成30年度の決算の総括について

松桜会 小野 幸男  
市長へ質疑

私立高等学校の進捗状況は。

本年3月から希望する生徒への学校説明会を開催している。

農業・漁業生産法人の担い手育成の確立は。

農業で6名、漁業で1名の新規就農があり、引き続き県と取り組む。

認知症初期支援体制の成果について。

チームの粘り強いアドバイスで信頼関係が生まれ受診につながる。

SDGsの地方創生の取り組みの成果と今後の財源確保と経費の削減の成果は。

東北SDGs 未来都市サミット・シンポジウムを開催し周知を図る。要望活動で交付税の増を図る。各課の意識醸成を図り費用削減に努める。

### 平成30年度 渥美市政の決算を問う

市民クラブ 石森 晃寿  
市長へ質疑

復興交付金事業計画全体に対する平成30年度の執行率83・4%となっている。市長は、どのように感じているか。

復興が計画に沿って着実に進んだと感じている。

8社全て企業進出しに来るのか。

8社全て進出して来るとは思っていない。

実質公債比率が下がっている要因。

合併特例債の期間満了による公債費負担金の減。

教育長へ質疑

電子黒板等の導入は、一助になったか。夏休みを5日間短縮した成果はあったのか。

電子黒板等の導入は、本年4月から導入している。全国学力・学習状況調査では、全国の平均正答率との差は、小さくなっている。

### マニフェストの完成度はいかに

清風・公明 上田 勉  
市長へ質疑

復興事業の完成度

完成度は満足。SDGsや地方創生の視点で事業展開した。また、健康保持事業として、パークゴルフ場を整備した。

観光事業の成果

四季ごと特色ある事業を展開した。宮城オルレの満足度向上にむけ、態勢整備した。

福祉の充実・健康保持事業、医療体制

西部包括支援センターを開発するとともに、子育て支援策の充実、心の復興を含み医療介護体制を整備した。私立認可保育園の誘致、放課後児童クラブを拡充整備し、待機児童減に努めた。

市長・教育長へ質疑

学力向上

各学校にICT機器の導入、エアコンの設置等教育環境を整備した。学力の差は小さくなり、改善の兆しが見られた。(教育長)

### 平成30年度決算の事業総括について

清新会 阿部 勝徳  
市長へ質疑

監査委員から事業目的はおおむね達したと高評価を受けたが見解は。

各部署で適正な予算管理で事務事業を執行、推進した結果だと思ふ。

個人市民税の納税義務者の増加と総所得額の増加に対する見解と次年度以降の予想は。

所得全体が伸びる所得割算定額の増加が要因だ。国の税制改正を留意しながら個人市民税の納税者数を注視していく。

さらなる企業誘致のための課題は。

工業団地のさらなる整備が課題で土取り場跡地を有望と考える。

子育て支援の拡充と

女性活躍社会作りは。

夜8時まで延長保育する私立認可保育園の誘致や放課後児童クラブの充実を図った。

9月13日、4会派より議員各1名が、平成30年度決算について質疑しました。ここでは、質疑の一部をお伝えします。